

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-216661(P2008-216661A)

【公開日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-54291(P2007-54291)

【国際特許分類】

G 09 B 5/06 (2006.01)

G 09 B 7/02 (2006.01)

G 06 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 09 B 5/06

G 09 B 7/02

G 06 F 17/60 1 2 8

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月2日(2010.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各学習項目に対応して学習項目ID番号と予め記憶された問題及び解答データとを含む教材データベース、各学習項目に対応して学習項目ID番号と学習項目名とそれが属する単元ID番号とを含む学習項目データテーブル、各単元に対応して単元ID番号と単元名とを含む単元名データテーブル、各学習項目に対応して学習項目ID番号と成績データとを含む個人成績データテーブル、を有する教材学習用データファイルと、

学習項目データテーブルからユーザーの学年の学習項目名を取り出して表示する処理を含む学習項目表示ルーチン、選択された学習項目の学習項目ID番号に応じた問題及び解答データを教材データベースから取り出して入力装置から入力された解答を正誤判定する処理を含む演習ルーチン、学習項目データテーブルの単元ID番号に応じた単元名を単元名データテーブルから取り出して表示する処理、個人成績データテーブルの成績データを集計して単元ごとの成績を表示する処理、選択された単元の単元ID番号に応じた学習項目名を学習項目データテーブルから取り出して表示する処理、学習項目の選択に応じて演習ルーチンに移行する処理、を含む成績表示ルーチン、を有する教材学習用プログラムと、

が記憶されていることを特徴とする教材学習用記憶媒体。

【請求項2】

請求項1に記載の教材学習用記憶媒体において、

前記学習項目表示ルーチンは、学習項目データテーブルの単元ID番号に応じた単元名を単元名データテーブルから取り出してウィンドウに表示する処理、選択された単元の単元ID番号に応じた学習項目を含むユーザーの学年の学習項目名を学習項目データテーブルから取り出して表示する処理、を更に含むことを特徴とする教材学習用記憶媒体。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の教材学習用記憶媒体において、

前記学習項目表示ルーチンは、選択された学習項目の単元ID番号と同じ又は関係ある

単元ID番号に応じた学習項目名を全ての学年について学習項目データテーブルから取り出して表示する処理を更に含むことを特徴とする教材学習用記憶媒体。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の教材学習用記憶媒体において、

前記教材学習用プログラムが最初にアクセスされたときには、教材学習用プログラムをサーチするサーチプログラム及び教材学習用記憶媒体に割り当てられていたドライブ名が記憶されるサーチデータファイルを、教材学習用記憶媒体に割り当てられたドライブ名とは異なるドライブ名の記憶媒体に記憶させるイニシャライズプログラムが記憶されており、

該サーチプログラムは、サーチデータファイルに記憶されたドライブ名に教材学習用プログラムが存在すれば教材学習用プログラムを起動し、教材学習用プログラムが存在しなければ順次ドライブ名を変えてサーチし、教材学習用プログラムが存在したドライブ名をサーチデータファイルに記憶するとともに教材学習用プログラムを起動することを特徴とする教材学習用記憶媒体。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項に記載の教材学習用記憶媒体において、

前記教材学習用プログラムは、学習開始メッセージを自動的に監督者に通知する処理を含む学習自動通知ルーチンを有することを特徴とする教材学習用記憶媒体。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載の教材学習用記憶媒体において、

前記教材学習用プログラムは、ユーザーの画像と音声の送信と家庭教師の画像と音声の受信とのリアルタイムな制御を行う処理を含む家庭教師交信ルーチンを有することを特徴とする教材学習用記憶媒体。